

9. 古代の森と四季を感じよう

森町小國神社コース (約8.7km)

学習テーマ



小國神社は遠州きっての古い神社で、1,400年の歴史があります。境内は古代の森と呼ばれ、神社を囲うように樹齢数百年のスギやヒノキが茂っていて、荘厳な雰囲気を感じることができます。また、春はウメや桜、秋は宮川沿いのモミジなど、四季折々の葉や花を鑑賞できます。

自然の中で心身休養ができる憩いの場所として整備された「町民の森」では、最近少なくなってきた野生のキキョウが見られます。自然の中を歩きながら、特徴のある樹木や山野草を探してみましょう。



環境学習プログラム

みんなでやってみよう!



1 小國神社

参道には樹齢数百年のスギ・ヒノキの巨木が立ち並び、その大きさに圧倒されます。参道脇の地表には、シャガやヤブランなどの草花が生えています。社殿の屋根は檜皮葺とよばれ、境内のヒノキの樹皮が使われています。

2 宮川

小國神社の中を流れている宮川は、社殿や鎮守の森とともに、神聖な場所として昔から人々が大切に守ってきました。サワガニなどたくさんの生きものが見られ、小学校の水生物観察や親子連れの川遊びなどにも利用されています。

13分 (町民の森 南ゲート駐車場)

3 南ゲート周辺

面積約40haの広大な森には、数百種の樹木や草花が生育しています。南ゲートから管理車道を歩くと、コナラやアカマツの林床にコシダやウラボシなど、乾燥に強いシダの仲間が見られます。

4 森の泉

ありのままの自然を活かした小さな泉です。露頭の岩肌を水が絶え間なく滴っており、町民の森の中にあるオアシス的な環境となっています。サワガニやマガエルなどの生きものを観察することができます。

※露頭：地層・岩石が地表に露出している場所

5 北ゲート周辺

最近では急激に数が少なくなっているキキョウを見ることができます。また、枝や幹にヤドリギの仲間が寄生する様子やしくみが観察できます。

30分

GOAL 町民の森 南ゲート駐車場

木の大きさを比べよう!

神社の森は、古くから大切に守られてきました。そのため、御神木などは普通の森では見られないほどの太さや高さになっています。木の太さを見比べたり、切株がある場合は、年輪を数えてみましょう。



小國神社の神代杉の切り株

水の中の生きものを観察しよう!

水の中に住む生きものを観察してみましょう。川の石を持ち上げると、石の隙間や表面にはサワガニやカゲロウ、トビケラなどを見つけることができます。また、ペットボトルを二つに切って重ね、餌を入れて沈めれば、中に入った魚を間近で観察することができます。



ペットボトルの中の魚

冬芽と葉痕を観察してみよう!

新しい葉や花が収まっている冬芽と、葉が落ちた跡の葉痕(葉と茎をつないでいた水や養分の通り道の跡)をよく観察してみましょう。何に見えますか? 人や動物の顔に見えるものもあります。



クサギ

「ななくさ」ってなに?

「春の七種」は七種粥(七草粥)に象徴されるように食べるものですが、「秋の七草」は、冬に向かう前に咲く花の美しさを楽しむものです。春の七種は水田や畑のまわりで、秋の七草は野山で探してみてください。

- 【春の七種】①セリ ②ナズナ ③ハハコグサ ④ハコベ ⑤コオニタビラコ ⑥スズナ(カブ) ⑦スズシロ(ダイコン)
- 【秋の七草】①オミナエシ ②オバナ ③キキョウ ④ナデシコ ⑤フジバカマ ⑥クズ ⑦ハギ